

事業報告

2024年度は、計画していた健診事業、普及啓発事業、健康増進事業等を、概ね計画通りに実施することができた。新型コロナウイルス感染症（以下「コロナ」という）の影響が徐々に緩和されて中においても、受診者の安全を確保するため、感染防止対策を講じながら各事業を着実に推進した。

集団健診については、一部の検診では受診者数が増加したものの、全体として受診者数は減少傾向にある。健診を実施した市町村数や事業所数に大きな変化がなかったことから、受診者数の減少傾向は、高齢化や人口減少の影響が考えられる。

しかしながら、コロナ蔓延下での受診控えなどにより懸念された健診の受診意欲は、健康への注目度を背景に健診の重要性が理解され、一定の水準を維持していると推測しており、特定健診や一部のがん検診の受診者が増加する結果となった。

こうした状況下において、受診者に寄り添った丁寧かつ円滑な健診を提供する環境の整備が重要との考えから、現場情報収集システム（ハンディ健診）を新たに導入して、健診現場における検査データ収集等の正確性の向上や受診者の利便性の向上を図ったところである。

施設健診においては、「女性の日」の設定日増や積極的な受診勧奨、健診フロアなどの改修を行い、受診しやすい環境づくりに取り組んだ結果、受診者数は増加した。

情報処理等の事業については、特定健康診査及び医療機関等による検診ともに、前年度より微増ではあるが結果等の情報処理件数は増加した。

特定保健指導事業については、利用しやすい事業所訪問型の特定保健指導を推進したことで、実施人数が増加した。また、健康増進事業においては、各種機会をとらえた健康づくり教室の開催を呼びかけ、地域や職域における健康づくりを支援した。

一方で、少子高齢化、人口減少、物価高騰といった社会情勢の変化が、事業団の運営に大きな影響を及ぼすことが予測された中、当事業団は「高品質な保健サービスを持続的に提供する」ことを使命として、受診環境や職場環境の整備を適切に進めるとともに、業務の効率化や経費の削減にも取り組み一定の成果を得た。

具体的には、子宮がん検診車や乳房・腹部併用超音波検診車、健診機材の更新等のハード面の整備を行うとともに、健康支援システムの構築により、効果的な保健指導の実施が可能となった。

また、管理業務においては、公益財団法人としての信頼性と正確性を確保するため、財務に関して外部の公認会計士による定期的な検査を実施した。さらに、給与事務に関しては、諸手当の申請や財務処理等のシステム化を進め、処理効率の向上と経費削減の両立を図った。

I 普及啓発事業

1 イベント・行事

(1) 健（検）診担当者説明会の開催

市町村及び事業所の健（検）診担当者を対象に説明会を開催し、次のとおり講演と2025年度に向けた健（検）診及び健康増進・保健事業等の取り組みについて説明した。

日 時 2024年10月2日（水）
場 所 松本市浅間温泉文化センター（参加者115名）
講 演 演題 「肺がん検診のCT検査とX線検査の違いについて」
講 師 JA長野厚生連 浅間南麓こもろ医療センター 丸山 雄一郎先生

(2) 第40回信州婦人健康のつどいの開催

結核等感染症の予防知識を習得するとともに、各婦人団体相互の連携による健康づくりに向けた活動を推進するため、長野県などとの共催により次のとおり実施した。

日 時 2024年9月4日（水）
場 所 ANCアリーナ（安曇野市総合体育館）メインアリーナ（参加者166名）
共 催 長野県、結核予防婦人会長野県連合会、長野県連合婦人会
講 演 演題 「歯とお口の健康」
講師 長野県 健康福祉部 健康増進課長
歯科医師 田上 真理子 先生

このほか、参加者全員による体操、踊り等を行った。

(3) 全国大会への参加

ア 公益財団法人結核予防会（以下「結核予防会」という。）主催の全国大会に参加した。

開催日 2025年2月5日（水）
開催場所 岩手県盛岡市 盛岡グランドホテル
大会テーマ 「雨ニモ負ケズ 結核ニモ負ケズ -結核根絶に向けて-

イ 公益財団法人日本対がん協会（以下「日本対がん協会」という。）主催のがん征圧全国大会に参加した。

開催日 2024年9月12日（木）～9月13日（金）
開催場所 埼玉県さいたま市 ソニックシティホール
大会テーマ 「“彩の国さいたま”から羽ばたこう がん征圧の明日へ」

(4) リレー・フォー・ライフジャパン信州長野への協力

長野市で開催した「リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2024信州長野」に、日本対がん協会長野県支部として支援をした。

(5) 信州がんプロジェクトへの協力

abn長野朝日放送と協賛各社が取り組む「信州がんプロジェクト」の番組制作に協力した。

2 広報紙・ポスター等の配布

- (1) 結核予防会が作成した結核予防週間ポスター、啓発パンフレット・冊子などを市町村・医療機関等関係機関に配布し周知を図った。

結核予防週間ポスター 2,428枚

結核の常識 2,627部

複十字 240冊

- (2) 全国結核予防婦人会が作成した冊子を健（検）診実施主体や関係機関等に配布した。

健康の輪 1,230冊

- (3) 日本対がん協会が作成したがん征圧月間ポスター、啓発パンフレット・冊子などを市町村・医療機関等関係機関に配布し周知を図った。

がん征圧月間ポスター 1,800枚

対がん協会報 490部

3 マス・メディアの活用・協力

- (1) 啓発広告の掲載

新聞各紙に啓発広告を掲載し、がん予防や結核予防に関して県民の意識の高揚を図った。

がん征圧月間に関する掲載

9月1日（金）信濃毎日新聞

- (2) ラジオ放送

長野県医師会が作成し、毎週日曜日に放送しているSBC信越放送の「こんにちはドクター」に協賛した。

- (3) 有線放送

長野市南部を放送エリアとする更北有線放送の「みんなで進める健康づくり」の企画に「健診から始める健康づくり」をテーマとして、年間6回の放送に協力した。

4 関連団体との連携

結核予防会及び日本対がん協会

長野県支部として健（検）診事業及び普及啓発活動等を行うにあたり会議等に参加し、各支部との意見交換を行った。

結核予防婦人会長野県連合会

結核予防推進のため、事務局として会の育成に努めるとともに活動を支援し、複十字シール運動への協力など、結核の知識普及啓発及び最新情報等の収集を行った。

5 表彰

結核予防・生活習慣病予防功労者表彰

永年に亘り結核予防・生活習慣病予防に貢献された功労者に対し、理事長表彰を行った。

受賞者 釜田 秀明 氏（長野市）

推薦者 一般社団法人長野市医師会

受賞理由 長野県健康づくり事業団が行う胃集団検診読影において、平成8年4月から現在までの28年間もの永きにわたり「長野市医師会胃集団検診読影委員会」の委員として読影を行い、数多くの早期胃がんの発見に貢献された。また、本委員会において読影し発見された胃がん症例を発表する症例供覧会に参画する等、読影技術の向上に努め胃がん予防に寄与した功績は顕著である。

受賞者 袖山 治嗣 氏（長野市）

推薦者 一般社団法人長野市医師会

受賞理由 長野県健康づくり事業団が行う胃集団検診読影において、平成8年4月から現在までの28年間もの永きにわたり「長野市医師会胃集団検診読影委員会」の委員として読影を行い、数多くの早期胃がんの発見に貢献された。また、本委員会において読影し発見された胃がん症例を発表する症例供覧会に参画する等、読影技術の向上に務め胃がん予防に寄与した功績は顕著である。

受賞者 神林 隆幸 氏（長野市）

推薦者 一般社団法人長野市医師会

受賞理由 長野市が平成6年より開始した肺がん検診に読影において、平成6年4月から8年3月、及び、平成12年4月から現在までの通算26年間もの永きにわたり「長野市医師会肺がん検診読影委員会」の委員として読影を行い、数多くの早期肺がんの発見に貢献された。また、本委員会において読影し発見された肺がん症例を発表する症例供覧会にも参画する等、読影技術の向上に努め肺がん予防に寄与した功績は顕著である。

受賞者 岡田 和義 氏（長野市）

推薦者 一般社団法人長野市医師会

受賞理由 長野市が平成6年より開始した肺がん検診に読影において、平成8

年4月から9年3月、及び、平成12年4月から現在までの25年間もの永きにわたり「長野市医師会肺がん検診読影委員会」の委員として読影を行い、数多くの早期肺がんの発見に貢献された。また、本委員会において読影し発見された肺がん症例を発表する症例供覧会にも参画する等、読影技術の向上に努め肺がん予防に寄与した功績は顕著である。

受賞者 吉村 一彦 氏（松本市）

推薦者 松川村長

受賞理由 平成15年に吉村医院を開業以来、行政が実施する保健予防事業に積極的に尽力いただいている。特に、村で行っている特定健診をはじめとする村の保健予防事業の効果的な推進のため、多大なるご協力をいただいている。また、結核・肺がん検診では、長年にわたり比較読影医として大北管内の結核・がん等の早期発見に貢献されている。現在も地域住民からの信頼も厚く村民の健康を守るため、村民の保健衛生行政に対して多大な貢献をされている。

受賞者 新谷 剛 氏（白馬村）

推薦者 白馬村長

受賞理由 平成10年にしんたにクリニックを開業以来、行政が実施する保健予防事業に積極的に尽力いただいている。特定健診をはじめとする村の保健予防事業の効果的な推進のため、多大なるご協力をいただいている。

また、胃検診では、長年にわたり読影医として大北管内の胃がん等の早期発見に貢献されている。現在も地域住民からの信頼も厚く村民の健康を守るため、村民の保健衛生行政に対して多大な貢献をされている。

6 募金活動

（1）事業団会員

会員は、日本対がん協会の維持会員を兼ね、がん征圧運動の推進にあたっては、会員に対がん協会報及びパンフレット等の送付を行い、がん予防の知識普及を図った。

個人会員 190人 （年会費 1,500円以上）

団体会員 17団体 （年会費 5,000円以上）

名誉会員 6人 （事業団の活動に功績のあった者、又は10万円以上の寄附を行った者）

（2）複十字シール募金事業

結核や肺がんその他の呼吸器疾患をなくし、健康で明るい社会をつくるための事業資金の確保と、これらの病気に対する知識の啓発と予防知識の高揚を図るため、結核予防会が実施する複十字シール募金活動に協力した。

募金額 1,850,410円

7 協議会・委員会等への参加

地域、事業所等の協議会・委員会の保健分野において、健康に関する専門・支援機関として委員を派遣した。

長野県がん対策推進協議会

長野県がん検診検討協議会

長野県健康づくり推進県民会議

長野市食育推進審議会

佐久地区地域職域保健連携推進協議会

長野圏域地域保健・職域保健連絡会議

上伊那郡市保健師連絡協議会

II 健診等事業

1 集団健診事業

(1) 結核検診

市町村、事業所及び施設の委託等を受け、胸部エックス線撮影による検診を検診車10台で実施し、受診者数は前年度比較で1,276人減少した。

(人)

区 分	市町村	事業所	学生	施設	2024年度	2023年度	前年度比較
エックス線撮影	31,324	41,191	17,836	11,897	102,248	103,524	98.78%
検診日数	197	614	155	154	1,120	1,160	96.55%

(実施市町村数 31)

(2) 肺がん検診

市町村及び事業所の委託等を受け、胸部エックス線撮影（結核検診に使用する検診車10台共用）にハイリスク者の喀痰細胞診を併用する方式による肺がん検診と、肺がんCT検診をらせんCT検診車1台で実施した。

エックス線検査による受診者数は、前年度比較で4,976人増加した。肺がんCT検診は前年度比較で100人減少し、喀痰検査を含めた肺がん検診合計は、前年度比較で4,858人増加した。

(人)

区 分	市町村	事業所	2024 年度	2023 年度	前年度比較
エックス線検査	46,803	25,889	72,692	67,716	107.34%
検診日数	303	394	697	658	105.93%
要精検数	963	158	1,121	1,248	89.82%
要精検率	2.06%	0.61%	1.54%	1.84%	△0.30ポイント
喀痰検査	413	187	600	618	97.09%
要精検数	0	0	0	0	—
要精検率	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	—
C T 検査	14,657	89	14,746	14,846	99.32%
検診日数	167	2	169	157	107.64%
要精検数	576	4	580	478	119.34%
要精検率	3.93%	4.49%	3.93%	3.27%	0.66ポイント
受診者合計	61,460	25,978	88,038	83,180	105.11%
検診日数	470	396	866	815	106.25%

(実施市町村数 エックス線検査 39、C T 検査24)

要精検者数は、国の指針によりD判定（肺がんを除く疾患疑い）を除き、E判定（肺がんの疑い）のみ記載。

(3) 特定健康診査・一般健康診断

市町村国保の委託を受けた特定健康診査、事業所等の委託を受けた一般健康診断及び特殊健康診断を循環器健診車8台と一部ワゴン車による機器の持込で実施した。

市町村における特定健康診査は微減が続いているが、ほぼ計画どおり実施した。

前年度比較で特定健康診査では415人微増、一般健康診断では3,439人減となった。

(人)

区 分	特定健康診査			一般健康診断		
	2024年度	2023年度	前年度比較	2024年度	2023年度	前年度比較
受診者数	23,805	23,390	101.77%	71,664	75,103	95.42%
心電図	19,268	18,845	102.24%	57,186	59,234	96.54%
眼 底	9,231	8,541	101.07%	18,979	20,570	92.26%
肝炎ウイルス	3,090	2,935	105.28%	3,819	4,218	90.54%

(実施市町村数 22)

市町村の協力のもと、市町村国保特定健診の会場で社会保険等加入者931人の特定健診を実施した。

一部事業所では一般健康診断に併せて、有機溶剤、特定化学物質等の業務に従事する労働者に対する特殊健康診断をのべ14,900人実施した。

(4) 学校心臓検診

市町村教育委員会の委託を受け、児童・生徒の学校心臓検診を循環器検診車又は心電計を持ち込み校舎内で検査を行う方法で実施した。

2024年度は、インフルエンザなど感染症の影響により延期があったが、高校の通信制（秋入学）の検診を除き、ほぼ学校保健安全法施行規則で定められている6月末でおおむね終了することができた。

受診者数は、児童・生徒の減少により前年度比較で578人減少した。

(人)

区 分	小学校	中学校	高校等	教職員	2024年度	2023年度	前年度比較
心電図	13,583	7,268	8,321	810	29,982	30,560	98.10%

(実施学校数：小学校156、中学校72、高校等52、小中一貫校5、中高一貫校4
支援学校1、計290校 高校等には養護6・盲1・ろう1の各学校を含む。)

(5) 胃がん検診

市町村及び事業所の委託を受け、検診車7台（全車デジタル装置搭載）でエックス線検査（バリウム検査）を実施した。

受診者数は、前年度比較で1,954人の減少となった。

(人)

区 分	市町村	事業所	2024 年度	2023 年度	前年度比較
受診者数	19,631	9,330	28,961	31,158	92.95% ^[N1]
検診日数	547	769	1,316	1,392	94.54%
要精検数	1,216	544	1,760	2,021	87.09%
要精検率	6.19%	5.83%	6.08%	6.49%	△0.41 ^{ポイント}
※基幹システム外	383	853	1,236	993	124.47%
胃検診受診者数	20,014	10,183	30,197	32,151	93.92%

(実施市町村数59)

※ 基幹システム外はエックス線撮影のみで、読影及び結果処理は行わない。

(6) 大腸がん検診

市町村及び事業所の委託を受けて、免疫学的便潜血検査2日法を実施した。

また、一部市町村が医療機関で実施する検診の検査及び結果処理を実施した。

受診者数増を目的として、他の健（検）診実施時や別日を設けた回収なども継続実施したが、受診者数は、前年度比較で537人減少した。

(人)

区 分	市町村	事業所	2024年度	2023年度	前年度比較
2 日法受診者数	63,495	23,986	87,481	88,018	99.39%
要精検数	3,665	1,059	4,724	4,690	100.72%
要精検率	5.77%	4.42%	5.40%	5.32%	0.08ポイント

(実施市町村数43)

(7) 乳がん検診

市町村及び事業所の委託を受けて、超音波検査を検診車2台（うち1台は超音波装置2台搭載）で実施した。視触診・超音波検査は1村のみ実施している。

超音波単独検診の市町村数は変わらず、1事業所で検診を休止した。受診者数は、前年度比較で198人減少した。

マンモグラフィ検査は、市町村、事業所の委託を受けて、MLO（内外斜位方向）とCC（頭尾方向）の2方向撮影を検診車3台（全車デジタル装置搭載）で実施した。受診者数は、前年度比較で177人減少した。

(人)

区 分	市町村	事業所	2024年度	2023年度	前年度比較
視触診検診受診者数	48	0	48	55	87.27%
超音波併用件数	48	0	48	55	87.27%
検診日数	2	0	2	2	100.00%
要精検数	2	0	2	1	200.00%
要精検率	4.17%	—	4.17%	1.82%	2.35ポイント
超音波単独検診受診者数	15,188	2,373	17,561	17,759	98.89%
検診日数	410	83	493	516	95.54%
要精検数	375	82	457	380	120.26%
要精検率	2.47%	3.46%	2.60%	2.14%	0.46ポイント
マンモグラフィ検診	19,512	1,332	20,844	21,021	99.16%
検診日数	526	42	568	561	101.25%
要精検数	1,213	70	1,283	1,403	91.45%
要精検率	6.21%	5.26%	6.16%	6.67%	△0.51ポイント
受診者合計	34,748	3,705	38,453	38,835	99.02%
検診日数	938	125	1,063	1,079	98.52%
要精検数	1,590	152	1,742	1,784	97.65%
要精検率	4.58%	4.10%	4.53%	4.59%	△0.06ポイント

(実施市町村数 視触診・超音波検診 49、マンモグラフィ検診56)

※マンモグラフィ検査の事業所の検診日数は、センター実施分を除き集計している。

(8) 子宮頸がん検診

市町村及び事業所の委託を受けて、頸部細胞診を検診車2台で実施した。

受診者数は、前年度比較で633人減少した。

(人)

区 分	市町村	事業所	2024年度	2023年度	前年度比較
受診者数	10,597	2,807	13,404	14,037	95.49%
検診日数	222	59	281	285	98.60%
要精検数	152	57	209	179	116.76%
要精検率	1.43%	2.03%	1.56%	1.28%	0.28ポイント

(実施市町村数 51)

(9) 前立腺がん検診

市町村の特定健診や事業所の定期健診で、問診と血液検査(P S A法)により、原則として50歳以上の男性を対象に実施した。

また、実施主体から要望のあった場合は単独検診として実施した。

受診者数は、前年度比較で738人増加した。

(人)

区 分	市町村	事業所	2024年度	2023年度	前年度比較
受診者数	8,902	5,388	14,290	13,552	105.44%
要精検数	544	260	804	900	89.33%
要精検率	6.11%	4.82%	5.62%	6.64%	△1.02ポイント

(実施市町村数 17)

(10) 骨健診

市町村、事業所の委託を受けて、超音波による踵骨の骨密度測定を実施した。

受診者数は、前年度比較で市町村は36人増加したが、事業所は1,292人減少し、全体では1,256人の減少となった。

(人)

区 分	市町村	事業所	2024年度	2023年度	前年度比較
受診者数	3,168	1,021	4,189	5,445	76.93%
健診日数	36	17	53	112	47.32%
要精検数	513	54	567	672	84.38%
要精検率	16.19%	5.29%	13.54%	12.34%	1.20ポイント

(実施市町村数 15)

(11) ストレスチェック事業

労働安全衛生法に基づき、労働者の心理的負荷の程度を把握するための検査「ストレスチェック」を事業所の委託を受けて実施した。

受託団体数は、前年度より1団体増加したが、受検者数は1,074人減少した。

区 分	2024年度	2023年度	前年度比較
受託団体数	83	82	101.22%
受検者(人)	7,205	8,279	87.03%

(12) 2023年度のがん検診事業による発見がんの状況

各種がん検診で発見されたがん症例について、県医師会、手術医療機関などの協力を得て追跡調査を実施し、検診精度の向上に努めた。

(人)

区 分		2023年度発見がん数			2022年度発見がん数		
			受診人員	発見率		受診人員	発見率
肺がん検診 ※1	エックス線	22	47,309	0.05%	15	49,584	0.03%
	C T	12	14,737	0.08%	30	15,342	0.20%
胃がん検診 ※2		22	34,510	0.06%	49	37,589	0.13%
大腸がん検診		150	91,034	0.16%	146	91,403	0.16%
乳がん検診	視触診＋超音波	0	55	0.00%	0	154	0.00%
	超音波単独検診	18	18,153	0.10%	25	18,015	0.14%
	マンモグラフィ	47	21,021	0.22%	60	21,264	0.28%
子宮頸がん検診 ※3		9	14,037	0.06%	9	14,071	0.06%
前立腺がん検診 ※4		19	13,552	0.14%	35	13,114	0.27%
合 計		299	254,408	0.12%	369	260,536	0.14%

※1 市町村実施の結果通知分のみ

※2 読影実施分のみ

※3 発見がん数、発見率はCIN3以上に対する値。(調査結果は2025年4月現在)

※4 2023年度調査結果は2025年4月現在

(13) がん検診の精密検査受診勧奨

伊那市の委託を受けて、各種がん検診の精密検査受診勧奨事業を実施した。

(人)

区 分		2024度	2023度
胃 が ん	要 精 検 者 数	35	37
	精検受診者数	28	31
	精 検 受 診 率	80.00%	83.78%
大腸がん	要 精 検 者 数	233	200
	精検受診者数	176	159
	精 検 受 診 率	75.54%	79.50%
前立腺がん	要 精 検 者 数	57	76
	精検受診者数	40	53
	精 検 受 診 率	70.18%	69.74%
乳がん（マンモグラフィ）	要 精 検 者 数	34	55
	精検受診者数	33	52
	精 検 受 診 率	97.06%	94.55%
乳がん（超音波）	要 精 検 者 数	11	14
	精検受診者数	9	12
	精 検 受 診 率	81.82%	85.71%
子宮頸がん	要 精 検 者 数	10	38
	精検受診者数	7	30
	精 検 受 診 率	70.00%	78.95%

（巡回検診分のみ記載 2025年4月現在の中間報告）

（14）精度管理の取り組み

ア 各種委員会活動

検診・健康診断事業の実施にあたっては、次の専門委員会等において医学的事項等に関する検討、指導を受け、検診精度の向上と事業の円滑な推進に努めた。

長野県主催

- ・長野県がん対策推進協議会
- ・長野県がん検診検討協議会

長野県医師会主催

- ・がん検診検討委員会
- ・消化器検診委員会
- ・郡市医師会消化器検診委員長会議
- ・乳がん検診委員会
- ・郡市医師会乳がん検診委員長会議
- ・肺がん検診委員会
- ・郡市医師会肺がん検診担当理事会議
- ・心臓検診検討委員会

長野県健康づくり事業団主催

- ・健康診査検討委員会
- ・肺がんCT検診読影運営委員会
- ・大腸集団検診委員会
- ・子宮頸がん集団検診委員会
- ・骨健診検討委員会
- ・マンモグラフィ検診研究委員会
- ・前立腺がん検診検討委員会
- ・健康センター専門委員会

イ 外部精度管理調査

信頼される健診機関であるために、次の外部精度管理調査を定期的に受審し、精度の維持に努めた。

全国労働衛生団体連合会（総合精度管理調査）

長野県医師会（臨床検査精度管理調査）

結核予防会（胸部画像精度管理研究会）

公衆衛生協会（精度管理）

日本消化器がん検診学会（認定指導施設）

日本臨床細胞学会（認定）

日本乳がん検診精度管理中央機構（マンモグラフィ検診施設画像認定）

2 情報処理等事業

（１）特定健康診査（個別医療機関健診分）結果処理等

市町村国保が作成する特定健診受診券の発行を代行する業務や、郡市医師会が実施している結果処理、健診費用の決済申請等の業務を市町村国保と郡市医師会から受託して実施した。

2024年度の処理件数は4月末到着時の件数であり、市町村国保と郡市医師会からの提出時期等の関係から、各年度概ね6月末に処理件数が確定する。

処理件数は、池田町の新規受託、以前から契約していた天龍村が2024年度実施したことで、4月末現在、前年度比較で494件増加している。

（件）

区 分	市町村国保	郡市医師会	2024年度	2023年度	前年度比較
受 託 数	40	17	57	55	103.64%
処理件数	76,259	5,960	82,219	81,725	100.60%

（２）医療機関等実施検診結果処理

医療機関等の施設において実施した乳がん・子宮がん検診及びドック健診のデータ処理、結果通知書の作成・集計等の業務を市町村及び事業所から受託し実施した。

2024年度のドック健診の結果処理は、特定健康診査（個別医療機関健診分）結果処

理等と同様に、4月末到着時の件数であり、委託元からの提出時期等の関係から、各年度概ね6月末に処理件数が確定する。

胃内視鏡検診結果処理業務を千曲市・坂城町から新規で受託し実施したことで790件の増加となり、全体としては4月末現在、前年度比較で24件の増加となっている。

(件)

区 分		市町村数	2024年度	2023年度	前年度比較
乳がん検診	視触診・超音波	4	7,421	7,907	93.85%
	マンモグラフィ	12	6,646	5,676	117.09%
	小 計	16	14,067	13,583	103.56%
子宮頸がん検診		21	28,189	28,456	99.06%
ドック健診	ドック処理	—	6,649	7,715	86.18%
	データ作成	—	3,367	3,284	102.53%
	小 計	—	10,016	10,999	91.06%
胃内視鏡検診		16	4,325	3,535	122.35%
合 計		52	56,597	56,573	100.04%

3 健康センターにおける施設健診

長野健康センターと伊那健康センターで日帰り人間ドック等の施設健診を実施し、両健康センターの各種健診における受診者の合計数は、生活習慣病予防健診、日帰り人間ドック、特定健診、全国健康保険協会生活習慣病健診で前年度より増加した。

また、職員の効率的な活用として施設健診の職員が巡回健診を実施するとともに、巡回健診で受診できなかった未受診者の健診を両健康センターで行った。

(人)

区 分	長野	伊那	2024年度	2023年度	前年度比較
生活習慣病予防健診	1,696	850	2,546	2,477	102.79%
日帰り人間ドック	2,159	2,152	4,311	3,626	118.89%
女性ドック（月2～3回）	77	25	102	221	46.15%
特定健診	11	2,142	2,153	2,102	102.42%
全国健康保険協会生活習慣病健診	3,644	1,865	5,509	5,093	108.17%
定期健康診断	4,062	1,510	5,572	5,942	93.78%
健診合計	11,649	8,544	20,193	19,461	103.76%
胸部C T（単項目）	171	1,992	2,163	2,187	98.90%

マンモグラフィ（単項目）	1,142	2,267	3,409	3,132	108.84
乳腺超音波（単項目）	524	402	926	1,191	77.75%

※2024年度からオプション単項目の数としています。

Ⅲ 健康増進事業

1 特定保健指導事業

医療保険者からの委託により、支援対象者に対して特定保健指導を実施するため、保健師、管理栄養士が生活習慣全般の具体的な改善計画を立案し、生活習慣病の重症化予防のための支援をした。

実施人数は、長野・伊那健康センターで生活習慣病予防健診等を受診した特定保健指導対象者に対する健診当日の保健指導が増加した。全体では前年度と同程度の実施となった。

（人）

区 分	2024年度	2023年度	前年度比較
動機づけ支援	648	607	106.75%
健康センター健診当日	107	75	142.67%
積極的支援	892	845	105.56%
健康センター健診当日	72	39	184.62%
初回のみの契約	340	333	103.03%
合 計	1540	1,452	106.06%
受託団体数	16	16	100.00%

2 健康増進事業

（1）健診終了後の栄養・運動・保健指導事業

市町村、事業所の委託を受けて健診の事後指導等を実施し、食生活、運動及び生活習慣の改善についてアドバイスを行い、健康の維持増進を図るよう支援した。

市町村・事業所実施回数 95回（参加人数2,121人）

（2）健康づくり教室、セミナー等への講師派遣事業

市町村、事業所等の各種健康増進事業に保健師、管理栄養士、健康運動指導士を派遣し、地域や職域の健康づくりを支援した。

派遣回数 計152回（参加人数2,852人）

・保健師 31回（参加人数980人）

・管理栄養士 45回（参加人数648人）

- ・健康運動指導士 76回(参加人数1,224人)

IV 役員会

事業の実施状況等について報告するとともに、事業計画・予算、諸規程、運営上の諸案件等について審議するため、次の会議を開催した。

- (1) 第1回理事会 2024年6月5日(水) 事業団会議室
 - 会議事項 2023年度事業報告
 - 2023年度会計決算報告
 - 評議員会の招集
- (2) 第2回理事会 2024年3月5日(水) 事業団会議室
 - 会議事項 2025年度事業計画(案)
 - 2025年度損益予算(案)
 - 2025年度固定資産取得予算(案)及び資産取得金積立予算(案)
 - 諸規程の一部改正(案)
 - 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第84条に基づく承認について
- (3) 評議員会 2024年6月24日(月) 事業団会議室
 - 会議事項 2023年度事業報告
 - 2023年度会計決算報告
 - 理事の選任
 - 評議員の選任
- (4) 会計監査 2024年5月31日(金) 事業団会議室
 - 2023年度事業及び決算監査

V その他

1 県有施設の管理受託

長野県から公衆衛生専門学校(伊那市)の管理事業を8,098千円で受託した。

2 経営の取り組み

第二期短期事業計画として3年間(1年目)の詳細な実行計画を各所で定め実行管理し、健診の実施効率を高め、収支の改善を進めた。

3 リスクマネジメント活動

各所属でリスクマネージャーを選任し、かいぜんレポート・事故報告の収集と分析、業務の改善による事故等の予防のほか、安全かつ適切な健診の提供に努力した。

また、リスクマネジメント部会、事故予防対策委員会で、健診事業や事務事業の事故

予防対策、改善内容の評価検討等情報の共有化に努めた。

個人情報保護管理については、個人情報保護マネジメントシステム（PMS）に基づき、個人情報の適切な取扱い、保護・管理に努めるとともに、管理職、監査員、新規採用職員、パート職員等の対象職種別教育研修の実施、監査員による課・所ごとの内部監査の実施等を通じて、対応レベルの向上を図り、自覚と責任に基づき、受託先や受診者等からの信頼度の向上に努めた。

また、従来より実施しているＩＣカードによる入退室管理に関し、機微な個人情報を取り扱うセキュリティエリアへの入退室管理を強化した。

4 公益法人としての対応

主たる公益目的事業では県民の健康づくりに寄与するために精度の高い検診と、より良いサービスの提供に努めた。

また、普及啓発事業では、結核予防会と日本対がん協会の長野県支部としての役割を認識し、正しい知識の普及や新しい情報の発信等に努めた。

5 職員研修

事業団における全職員を対象とした研修会を年末に実施し、次年度に向けた展望および事業運営の現況等について各部から報告を行った。

また、職員の心身の健康管理を目的として、メンタルヘルスに関する講演を以下のとおり実施した。

日 時	2024年12月20日（金）		
場 所	長野ホテル犀北館		
講 演	演題	「相手も自分も尊重したやりとりをしよう ～心理的安全性を育むために～」	
	講師	株式会社 Dream Seed	代表取締役社長 三井 洋子 先生